

(別紙5)

整理番号 2020P-246
補助事業名 2020年度 健康や命を守る医療の活動 【緊急支援】補助事業
補助事業者名 一般社団法人遠賀中間医師会

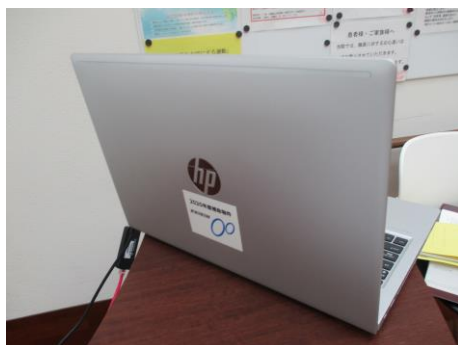
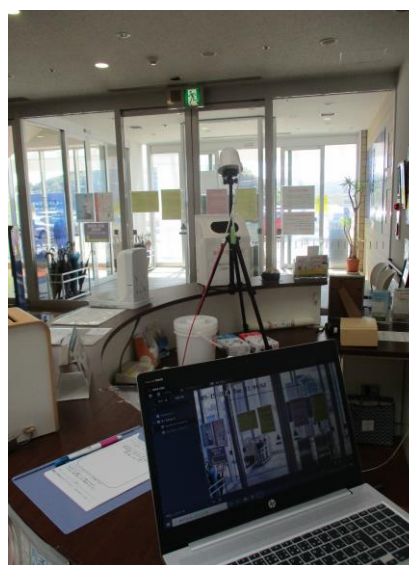
1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

赤外線体温検知機器を用いた検温の実施をすることにより、院内へ新型コロナウイルス感染者の流入リスクを減少させ院内感染の発生を防止する。

(2) 実施内容

遠賀中間医師会おんが病院の正面入り口にて、サーモカメラにて検温を実施。職員一名を配置して、PCにてサーモカメラの検知状況を確認。37.3℃以上の来院者を検知するとアラームが発報。担当職員は、その方に対して、再度非接触型の赤外線体温検知器にて検温を実施。それでも37.3℃以上であった場合は、患者の場合は発熱者専用入り口より入館して頂き別室で待機。その他の方は入館をお断りさせていただく。



2 予想される事業実施効果

院内感染を未然に防ぐことによって地域の通常の医療提供体制の維持と、継続的な新型コロナウイルスの治療体制の確保。

3 印刷物等

令和2年12月発行の広報誌に掲載予定。(約2,000部)

新型コロナの早い終息を願って

コロナの脅威はまだ続いています。緊急事態宣言が発表されています。初期に比べると平均的な日常生活を再開させるのが、先が長く見えます。関係者は、連日、懸命にコロナに立ち向かっており、国は予防接種やワクチンの開発を一日千秋の思いで待ちかまえています。

令和2年11月4日の時点で、世界の感染者は4,740万人、死亡者は121万人に達しています。とくに、アメリカ、インド、ブラジルでは感染者が500万人を超えているようですが、日本では感染者は10万人、死者は1,700人と極めて低い水準を維持しています。

おなが病院では、地域をまもるから守るという使命を帯び、コロナの予防・治療に積極的に取り組んでいます。これまでにPCR検査と抗原検査を1,777回実施し、陽性者は22名(1.2%)と低い水準を維持してきました。これは、遠東中間地区に人口密度が少なく、いっしょに暮らす人が少ないことが理由の一つです。

おなが病院は、コロナ患者さんを受け入れる施設として、ハイテクユニットの1000床を専用棟に改造して対応してきました。しかも、年間1,000人を超える救急搬送の患者さんの治療や手術後の患者さんのケアなど本来の急性期病棟としての業務も大切に、いつでもハイテクユニットが一般の患者さんにも使えるよう、おなが病院の質が押し上げられています。11月から、また、元のよりハイテクユニットを一般の重症患者さんへ転院できる体制にしました。一方、重症コロナの対応能力が不足している患者さんを受け取るためのベッドとして、3部病棟の2棟にコロナ専用の緊急搬送用ベッドを対応しています。

また、ドライブスルー方式のPCR検査センターを病院の敷地内に新設しました。かかりつけ医が診察して、コロナの感染が疑われる患者さんは、一般の患者さんと同様ドライブスルー方式で検査を行っています。

ところで、日本で馴染みのあるインフルエンザや水痘、狂犬病などの予防接種は、不活性化したウイルスを使って免疫反応を誘起するワクチンであり、また、百日咳や麻疹ワクチンなどはウイルスを精製したタンパク質ベースのワクチンで、すでに長年の実績があり、安心して使用されています。しかし、アメリカやイギリスで、急激に増えているワクチンに、コロナウイルスの遺伝子を使って、コロナウイルスに対する免疫反応を誘起したり、mRNAを使ったりした遺伝子治療があり、どのような性質があるのか非常に注目されています。

これは地球上で最も早く、多くの優れた文化を創っていますが、今、そこには見えぬ「感染者の脅威」が潜んでいます。特に自分自身が感染を繰り返したり、多くの優れた文化を創っていますが、今、そこには見えぬ「感染者の脅威」が潜んでいます。特に自分自身が感染を繰り返したり、多くの優れた文化を創っていますが、今、そこには見えぬ「感染者の脅威」が潜んでいます。

遠東中間地区病院 院長 藤原 直樹

ドライブスルーPCR検査センター

新型コロナウイルス PCR 検査

新型コロナウイルスの感染の疑いによりPCR検査と診断しますが、どのようなものでしょう。検査は検体もしくは鼻・咽頭ぬい液を採取し特性の検体を探し出す検査です。採取はインフルエンザと同様に鼻から奥の小さな綿棒をいれて採取し、特種装置に入ったチューブに入れます。PCRの検体と時間が3-4時間かかります。

当院でも、2020年2月28日より検体検査・検体検査外来を開始し、行政と連携しPCR検査を開始してあります。当初は行政検査のみで遠東地区のPCR検査センターにて検査を行ってあり検査結果の判別が1日もしくは2日かかるとも知りましたが、現在は、自院の検査センターにて検査を行い、平日から1日以内で検査結果が判別可能となりました。

当院での検査の仕組みは、重症コロナの感染が疑われる方は他の方と接触しないよう2階では待合から直接診察室に入る仕組みが整備されています。

診察室では診察室の空気を空調で換気を行い、ウイルスを除去するフィルターを換気口へ排出しています。また、待合には対になった1人用検体採集機上、風下と空気の入れ替えや医師や看護師の感染防止を行っています。これらのウイルスを除去するフィルターを換気して、医師や看護師は、基本マスク、マスク、手洗、手洗、手洗を徹底して対応します。

2020年11月4日より、遠東中間地区にはPCRセンターが設置されていませんでしたが、おなが病院の敷地内にPCRセンターを設置しドライブスルー方式で検査を行うことが出来るようになりました。

当院では2020年2月28日から10月31日まで1028例のPCR検査を行っており、発熱や呼吸器症状および検査が疑われる患者さんなどで緊急に医師が必要と判断する迅速な対応体制を構築してまいりました。

ワクチン、特効薬の早急の上市が待たれていますが、まだまだ未知の領域が多いので、慎重に、きせんと一人一人が今後も手洗い、マスクなど対策を徹底してまいります。

遠東中間地区病院 院長 藤原 直樹

詳しくは検査のご案内ページをご覧ください。
https://www.onnaka-med.or.jp/pcr_web/products/qaqndp/hqpr_46582401.html

公益財団法人 JKA の「新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に対する支援」のついで

公益財団法人 JKA の「新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に対する支援」による補助金で、入口にて自動で検疫を行う「ロボットシステム」を導入しました。発熱を感知して、別室にて対応させていただきます。院内感染発生への予防に努めてまいります。

ご希望の方に新型コロナウイルス PCR 検査を実費で実施します

現在、発熱症状は発熱の判別にて新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) を疑った症例では、行政検査としてPCR検査の実費補助が認められますが、それ以外のケースでは行政検査が認められず、PCR検査もできない医療機関が大半です。おなが病院・おながき病院でも、本人や家族、企業などPCR検査を希望される方が多くあるため、下記のよう、自費でPCR検査を行うこととなり、検査結果もご希望に応じて提供いたします。

予 約 前: 事前のご予約をお願いします。
遠東中間地区病院 TEL:093-282-2810
遠東中間地区病院おながき病院 TEL:093-282-0181

予 約 期: 平日 14:00より予約を承ります(土日祝日除外)

診察時間: 平日 15:00~18:00 (1時間)

金 額: 27,500円(税込) PCR検査(鼻・咽頭ぬい液)

検査場所: 院内外来

診 察 費: 当日清算(現金のみ)

当日持参: 保険証または身分証明書

検査方法: RT-PCR法(TaqMan プローブを用いたリアルタイム PCR 法)

使用機器: BD MAX™ (日本・ベトナム・インドネシア・シンガポール) 株式会社: Eon™, Max™ (ベトナム) 株式会社: BD MAX™ PCR Cartridges

検査結果: 結果証明書は、郵送・課外検査のご希望にお応えします
検査日の翌診察日の11時以降
電話にてのご回答はできません

【PCR検査について】
当院では感染を高めるため、鼻・咽頭を綿棒で取り出すPCR検査を行っていますが、PCR検査の陽性率(新型コロナウイルスに感染している人も検出されずに陰性が出る確率)は30~70%程度とされています。
今回の検査のため採取した綿棒(鼻・咽頭)にウイルスがない場合や、ウイルスを拭き取ることができないPCR検査の検出限界のウイルス量が少ない場合のウイルスしか検出されなかった場合には、どんなに検出率の高いPCR検査を行ったとしても陰性となります。よって、今回の検査で陰性であっても絶対ではありません。

【結果が陽性の場合】
本検査で陽性が出た場合は検疫所へ報告を行います。その後、保健所の指示に従っていただきます。また、この場合は行政検査へ変更し検疫所へ報告となりますので、一部負担金以外には発生しません。結果証明書の発行はいたしません。

特定健診開始のお知らせ

【おながき病院に専門医を置き、10月より特定健康診査・特定保健指導を始めました】

2008年に始まり10年以上経過した特定健康診査・特定保健指導は、メタボリックシンドロームの予防・療育に重点を置いた内容であり、いわゆる「メタボ健診」です。従来の増加に歯止めがかかっていない世界情勢のなかで、40歳以上の日本人の肥満は増加しているのにもかかわらず、一歩一歩としてのメタボ健診が一定の成果をおこしつつあると判断してまいりました。

対象者は40歳から74歳です。おながき病院では5,000万人にのぼります。本事業で大切な特定健康診査の費用は約400万円です。対象者への実施率は、検診費用の確保が最大の課題となっており、肥満の改善率に達するまでは3割にとどまっています。

すべての対象者の改善率向上のためには、地域にお住まいの皆様のアクセスの改善が喫緊の課題でした。

一オプションとして、誰が健診、誰が健診、大腸がん健診が可能で—
一健診健診は、リスクの高い人に対して高倍率のGT 健診検査を導入しました。
一健診健診は、専任の健康増進専門医が実施いたします。
一大腸がん健診は、検診費用は無料ですが、検診後は必ず検診後フォローアップをお勧めします。

わが国は、人口10万人あたりアメリカの4倍の大腸がん死亡数になっています。この状況を健診一丸として克服してまいります。
今後健診健診のメニューが予定されていますから、2020年10月に入る非アルコール性脂肪性肝疾患(NASH)の検査や「脂肪肝」による肝臓病の検査も一層強化いたします。さらに、後期高齢者の皆様にも、自身の検診(下ドレーン)を把握する必要がありますので、健診健診健診も取り入りたいと計画しています。

お問い合わせ先: おながき病院 健診部 TEL:093-282-0181(代表)

遠東中間地区病院おながき病院 院長 藤原 直樹

おながき病院 消防訓練を実施しました

今回は、消防訓練についての説明・水消火器を使用した消火訓練を行いました。

実行日: 令和2年12月28日
場所: 遠東中間地区病院おながき病院
参加者: 遠東中間地区病院おながき病院関係者

医師会ホームページに掲載
<http://www.onnaka-med.or.jp/1694/>

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名 : 一般社団法人遠賀中間医師会 (イッパ°ンシヤダ°ンホジ°ンオカ°ナマイシカイ)

住 所 : 〒807-0052

福岡県遠賀郡水巻町下二西2丁目1-33

代 表 者 : 会長 津田文史朗 (ツダフミシロウ)

担 当 部 署 : 事務部 (ジムブ)

担 当 者 名 : 統括事務部長 緒方 誠 (トウカツジムブチョウ オガタ マコト)

電 話 番 号 : 093-281-2810

F A X : 093-283-1121

E - m a i l : info@onmah.jp

U R L : <http://www.onnaka-med.or.jp/>